

宮本 徹



STOP 兵器爆買いで暮らしを圧迫

11月2日、予算委員会では安倍首相と岩屋防衛大臣に質問しました。東京新聞や日刊ゲンダイでも報道されました。「税金は暮らしの

応援一番に」をモットーに引き続き、徹底追及します。

宮本徹…トランプ大統領が、記者会見で、「私が、日本は我々の思いを受け入れなければならぬ。巨額の貿易赤字は嫌だ」と言うと、日

本はすごい量の防衛装備品を買うことになった」と発言している。何を約束したのか？

安倍総理…日米首脳会談のやりとりの一つ一つについてお答えすることは差し控

えさせていたきたいが、防衛装備品の導入について

は、中期防衛力整備計画に基づいて、米国製の防衛装備品を含め計画的に取得しており、今後とも、我が国の主体的な判断のもとに、防衛力の強化を行っていく。

宮本徹…差し控えることではない。総理のポケットマネーではなく、国民の税金で買う。国会に対して説明する義務がある。

安倍総理…お互いに了解し合ったことを外に出して



くということに基本的にはなっていく。

宮本徹…日米の了解になっ

ていないということは、安倍さんの側が隠したいという

ことではないか。中期防衛力整備計画に基づいてというが、イージス・アショ

アは、中期防の中にはなかった。飯島内閣官房参与がテレビで、イージス・アショアについて、「トランプ米大統領に押しつけられて購

入する状態だ」と話している。トランプ大統領がすごい量と言うとおり、来年度の概算要求ではFMS（アメリカ政府と契約して武器を購入する仕組み）は大変巨額になっている。

宮本徹…兵器等購入額のうちFMSの割合は、安倍政権以前の5%から、今度の概算要求では19・5%。FMSについての後年度負担

（ツケ払い）は安倍政権で

どれだけ増えたか。

岩屋防衛大臣…二〇二二年度は1521億円、二〇一九年度概算要求時は1兆5

076億円。

宮本徹…安倍政権になって、FMSの将来のツケ回しが

十倍に膨れ上がっている。アメリカ製の兵器の爆買いが兵器ローンがふえる主因

になっている。岩屋大臣も



